

あけましての

おめでたさも

なかばなり

皆様におかれましては、旧年中は、コロナ禍に鬱々とした日々をお送りになられたことかと思ひます。密鬱にならないがため鬱鬱になってしまった、そんな世の中かと存じ上げます。ゆえに明けもそんな

気分かと、上記の如く、新年の御挨拶をさせて頂きました。そこで、正月早々、思いついた他愛ないコトバが、

フー！フー！... とまでは

書いてみたもの。どの先は何だ？何と書けばいい？ フー！フー！正月！

か？違うな。フー！フー！みんなあ！... ナンカB48

みたいで、これも気恥ずかしい。言葉の魔術師が(自分で言ってるぜ)フー！フー！の先を思いつきません。この月祭、

フー！フー！以下御自由に！

でどうでしょう。それぞれの事情に合わせて、自らを「叱咤げきせい激励げきせい」してみれば、

いかがでしょうか。閑話休題、私は、今年5月からのノダフツツの新作づくりに半精を出し、他人の才能に嫉妬、そんな自分に辟易、いわば「嫉妬辟易」の

日々を送っております。秋にも、「小品の長期公演、その少し前には、文化サーカス/劇団パンと、鬱々とした日々からの逆襲」を企てております。そこで、春の新作の題名の

発表です。ジャジャジャジャーン！なんとフ... から始まります。多分、誰もこの先を当てることかできないような題名です。ただ、もしも、こんな題名しれないの？

と、心当りのある方は、年明けに私と会った時、私にそっとその題名を耳打ちして下さい。正解の場合は、招待券を差し上げてもいいくらいの心惹きの題名です。残念ながら、

フー！ではありません。新年早々、長々と無駄話におつきあいいただきありがとうございます。

とうとう(1月12日に)高齡者の仲間入りをさせられ、だったら「明るく生きよう」と決意した野田秀樹より